

第6次瀬戸市総合計画
市民アンケート調査結果報告書

令和元年12月

瀬戸市

目次

第1章 調査の概要	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査内容	1
1-3 グラフ等の見方	1
第2章 調査結果	2
2-1 回答者の属性	2
2-2 住みやすさの評価	3
2-3 定住の意向	8
2-4 まちへの愛着	13
2-5 まちづくりに対する市民の意識	17
2-6 力を入れていくべき分野	22
参考資料 調査票	26

第1章 調査の概要

1-1 調査の目的

本市では、2017年度（平成29年度）から2026年度（令和8年度）までを計画期間とする「第6次瀬戸市総合計画」を策定し、将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」実現のため、3つの都市像「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」「地域に住まう市民が自立し支えあい、笑顔あふれるまち」を掲げ、各都市像を達成するための取組みを展開しております。

この計画におきましては、様々な「統計データ」と市民の皆さまの意向を伺う「アンケート調査」から具体的な数値指標を設定し、本市の目指すべき「将来像」の達成度合いを測ることとしております。

本報告書は、現在の本市の取組みの成果に関する市民意向調査の実施結果をまとめたものです。

1-2 調査内容

(1) 調査対象

令和元年8月1日、瀬戸市に居住する満18歳以上80歳未満の方から、無作為で2,000人を抽出しました。

(2) 調査区域

調査対象の居住区域は、市内全域としました。

(3) 配布・回収方法

調査票は対象者各人宛てに郵送配布し、市役所への返送による回収としました。

(4) 調査時期

令和元年9月17日（火）～10月18日（金）

(5) 回収率

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000 票	888 票	44.40%

1-3 グラフ等の見方

図及び表には、回答数とそれに対する構成比（%）を示しています。

構成比は、小数点以下2位を四捨五入しており、合計等は必ずしも一致しない場合があります。

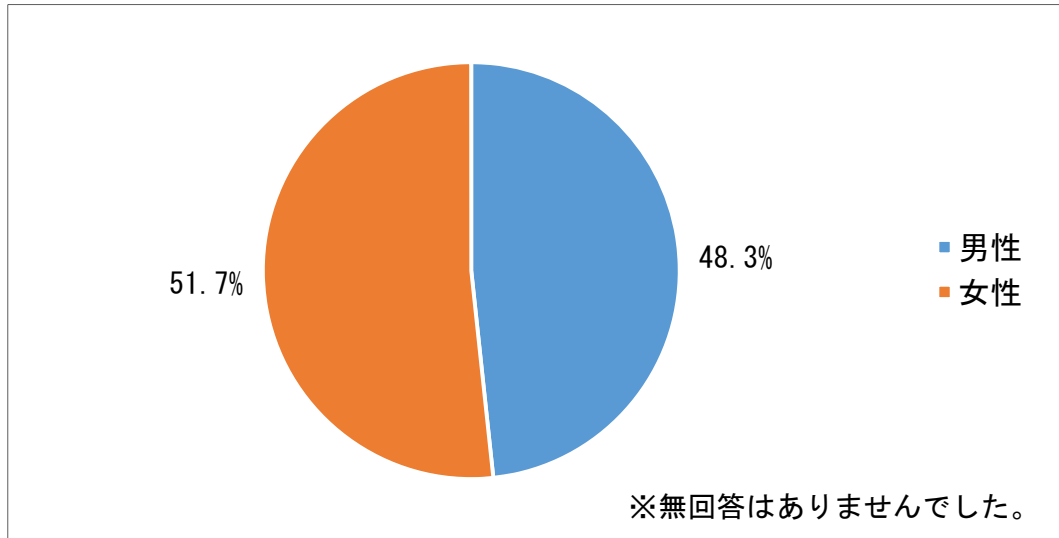
第2章 調査結果

2-1 回答者の属性

(1) 性別

- 回答者 888 人の性別は、「男性」が 48.3%、「女性」が 51.7%です。

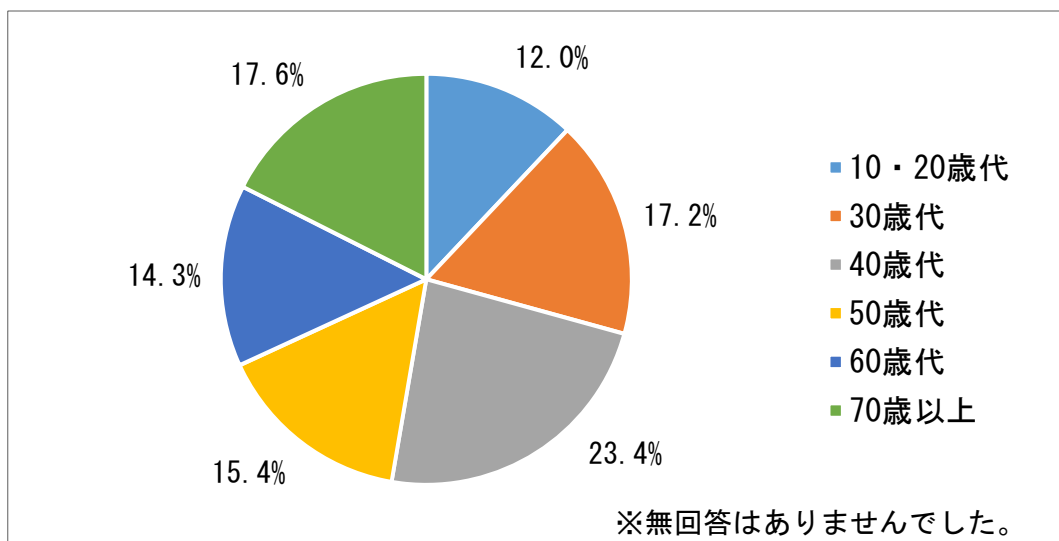
図表 2-1-1 回答者の性別



(2) 年齢

- 年齢別構成では、「40 歳代」が 23.4%、次いで「30 歳代」、「70 歳代」がそれぞれ約 17%となっています。
- 今回は「50 歳代」から「70 歳代」の中高年が 47.3%でした。前回の平成 28 年調査では中高年が 56.9%でした。

図表 2-1-2 回答者の年齢



2-2 住みやすさの評価

(1) 全体

- 瀬戸市の住みやすさの評価について、「住みやすい」が19.8%、「まあまあ住みやすい」が57.8%と、合わせて77.6%の方が、瀬戸市は『住みやすい』と評価しています。
- 「やや住みにくい」が16.8%、「住みにくい」が5.5%と、合わせて22.3%が『住みにくい』と評価しています。

(2) 性別

- 男性の77.4%、女性の77.8%が『住みやすい』と評価しています。

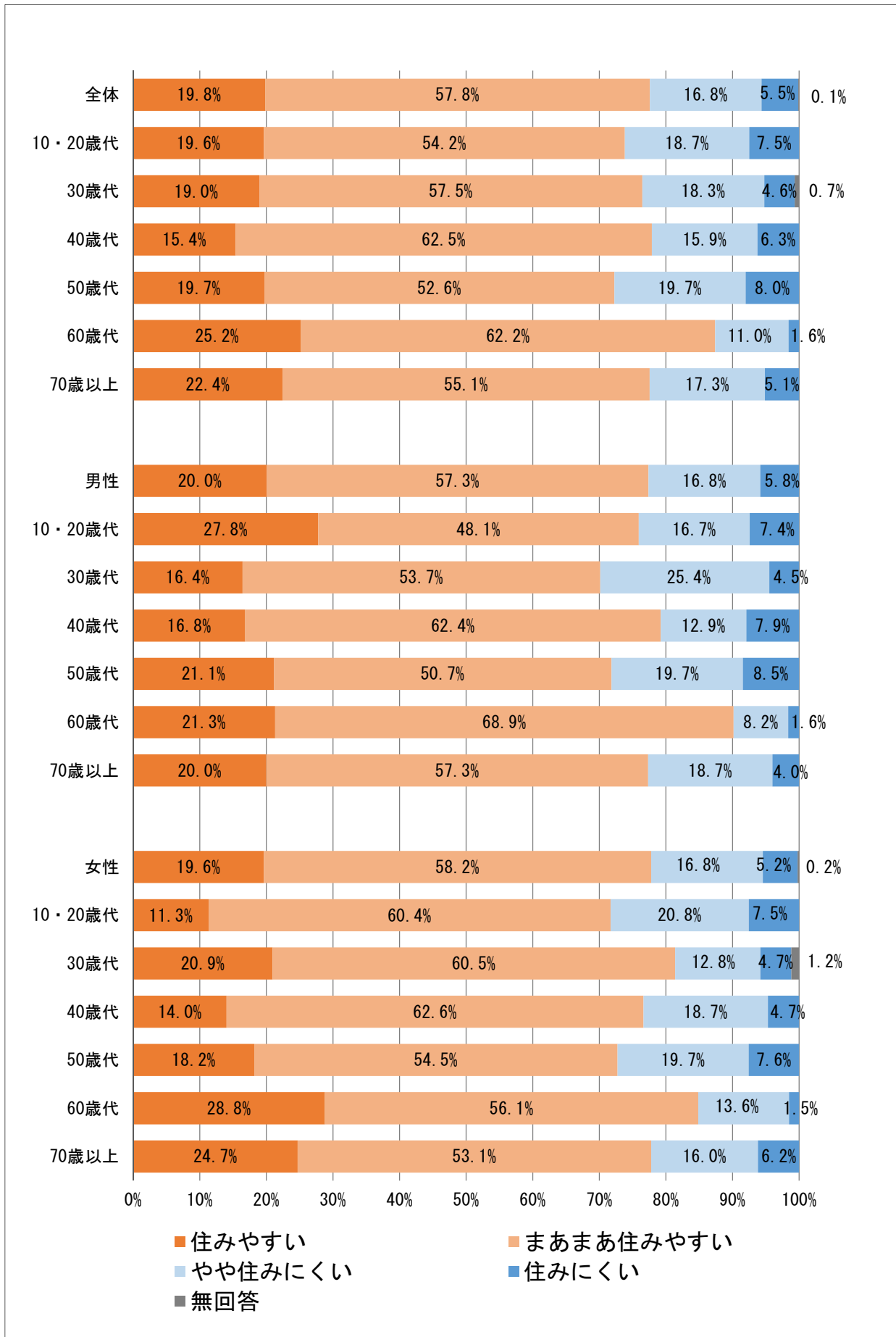
(3) 年齢別

- 年齢別では、全ての年齢層で『住みやすい』という評価が70%以上であり、特に「60歳代」は、80%を超えて高い評価となっています。
- 一方、「50歳代」では、27.7%が『住みにくい』という評価をしています。

図表 2-2-1 住みやすさの評価① 単位：%

	住み やすい	まあまあ 住み やすい	やや 住み にくい	住み にくい	無回答	『住みやすい』 住みやすい・ まあまあ 住みやすい 計	『住みにくい』 やや住みにくい・ 住みにくい 計
全体	19.8	57.8	16.8	5.5	0.1	77.6	22.3
10・20 歳代	19.6	54.2	18.7	7.5	0.0	73.8	26.2
30 歳代	19.0	57.5	18.3	4.6	0.7	76.5	22.9
40 歳代	15.4	62.5	15.9	6.3	0.0	77.9	22.1
50 歳代	19.7	52.6	19.7	8.0	0.0	72.3	27.7
60 歳代	25.2	62.2	11.0	1.6	0.0	87.4	12.6
70 歳代	22.4	55.1	17.3	5.1	0.0	77.6	22.4
男性	20.0	57.3	16.8	5.8	0.0	77.4	22.6
10・20 歳代	27.8	48.1	16.7	7.4	0.0	75.9	24.1
30 歳代	16.4	53.7	25.4	4.5	0.0	70.1	29.9
40 歳代	16.8	62.4	12.9	7.9	0.0	79.2	20.8
50 歳代	21.1	50.7	19.7	8.5	0.0	71.8	28.2
60 歳代	21.3	68.9	8.2	1.6	0.0	90.2	9.8
70 歳代	20.0	57.3	18.7	4.0	0.0	77.3	22.7
女性	19.6	58.2	16.8	5.2	0.2	77.8	22.0
10・20 歳代	11.3	60.4	20.8	7.5	0.0	71.7	28.3
30 歳代	20.9	60.5	12.8	4.7	1.2	81.4	17.4
40 歳代	14.0	62.6	18.7	4.7	0.0	76.6	23.4
50 歳代	18.2	54.5	19.7	7.6	0.0	72.7	27.3
60 歳代	28.8	56.1	13.6	1.5	0.0	84.8	15.2
70 歳代	24.7	53.1	16.0	6.2	0.0	77.8	22.2

図表 2-2-2 住みやすさの評価②



■前回調査（平成 28 年）結果との比較

（1）全体

- 「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせた『住みやすい』という割合は 77.6%で、前回調査から 0.6 ポイント上昇しています。

単位：％

項目 番号	内 容	選択された割合				ポイントの差	
		H28		R1		R1－H28	
1	住みやすい	22.1	77.0	19.8	77.6	▲2.3	0.6
2	まあまあ住みやすい	54.9		57.8		2.9	
3	やや住みにくい	16.6	22.5	16.8	22.3	0.2	▲0.2
4	住みにくい	5.9		5.5		▲0.4	

注：平成 16 年～平成 26 年の調査では、調査選択肢を「大変住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」、「どちらかといえば住みにくい」、「大変住みにくい」としていましたが、平成 28 年の調査から、次の通り変更しています。

「大変住みやすい」	⇒ 「住みやすい」
「どちらかといえば住みやすい」	⇒ 「まあまあ住みやすい」
「どちらかといえば住みにくい」	⇒ 「やや住みにくい」
「大変住みにくい」	⇒ 「住みにくい」

（2）性別

- 『住みやすい』という評価は、男性では 0.4 ポイント下降しています。また、女性では 1.3 ポイント上昇しています。

（3）年齢別

- 『住みやすい』が、「60 歳代」で 13.9 ポイント、「30 歳代」で 6.0 ポイント上昇しました。
- 一方『住みにくい』が、「70 歳以上」で 7.4 ポイント、「50 歳代」で 3.8 ポイント、「10・20 歳代」、「40 歳代」で 1.4 ポイント上昇しました。

注：平成 28 年までの調査では調査対象が満 20 歳以上 80 歳未満の方でしたが、令和元年の調査から満 18 歳、19 歳の方も調査対象としています。

■平成 16 年、平成 20 年、平成 23 年、平成 26 年、平成 28 年調査結果との比較

- 全体で見ると、令和元年の『住みやすい』の割合は平成 28 年に続いて上昇し、『住みにくい』の割合が下降しています。
- 性別で見ると、令和元年の「女性」の『住みやすい』の割合が 77.8%となり、これまでの調査で最も高い数値となりました。また、「男性」の『住みやすい』の割合は、前回（平成 28 年）に比べ 0.4 ポイント下降していますが、平成 26 年以降 77.0%を下回っていません。
- 年齢別で見ると、「60 歳代」では平成 26 年以降『住みやすい』の割合が下降していましたが、令和元年は 87.4%となり、これまでの調査で最も高い数値となりました。一方で、「10・20 歳代」では、平成 26 年以降『住みやすい』の割合が下降し続けており、令和元年は 73.8%となりました。

図表 2-2-3 住みやすさの評価（平成 16 年・20 年・23 年・26 年・28 年調査との比較）

単位：％

属性	調査時点	H16 ～ H26 H28 ～ R1	大変住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらかといえば 住みにくい	大変住みにくい	無 回 答	『住みやすい』 住みやすい・ まあまあ住みやすい 計	『住みにくい』 やや住みにくい・ 住みにくい 計
			住みやすい	まあまあ 住みやすい	やや 住みにくい	住みにくい			
全 体	16 年		14.2	61.0	20.3	3.3	1.1	75.2	23.6
	20 年		10.7	62.4	20.6	3.2	3.0	73.1	23.8
	23 年		12.3	63.1	17.9	2.7	4.0	75.4	20.6
	26 年		13.0	61.4	21.1	2.8	1.7	74.4	23.9
	28 年		22.1	54.9	16.6	5.9	0.5	77.0	22.5
	元年		19.8	57.8	16.8	5.5	0.1	77.6	22.3
性別	男 性	16 年	13.9	62.9	19.9	3.0	0.3	76.8	22.9
		20 年	11.6	62.5	20.9	3.2	1.8	74.1	24.1
		23 年	12.4	61.6	18.5	4.2	3.4	74.0	22.7
		26 年	15.7	61.6	17.5	3.7	1.5	77.3	21.2
		28 年	23.0	54.8	15.6	6.4	0.2	77.8	22.0
		元年	20.0	57.3	16.8	5.8	0.0	77.4	22.6
	女 性	16 年	14.6	60.4	21.0	3.6	0.3	75.0	24.6
		20 年	10.1	62.2	20.5	3.3	4.0	72.3	23.8
		23 年	12.3	64.7	17.6	1.5	4.0	77.0	19.1
		26 年	10.5	61.2	24.8	1.9	1.5	71.7	26.7
		28 年	21.2	55.3	17.5	5.6	0.4	76.5	23.1
		元年	19.6	58.2	16.8	5.2	0.2	77.8	22.0
年 齢	10・20 歳代 ※H28 までは 20 歳代 のみ	16 年	12.9	57.9	25.8	3.4	0.0	70.8	29.2
		20 年	14.5	64.5	15.8	5.3	0.0	79.0	21.1
		23 年	13.3	70.0	13.3	1.7	1.7	83.3	15.0
		26 年	21.9	57.0	20.2	0.9	0.0	78.9	21.1
		28 年	24.0	51.2	14.4	10.4	0.0	75.2	24.8
		元年	19.6	54.2	18.7	7.5	0.0	73.8	26.2
	30 歳 代	16 年	8.3	63.9	24.9	3.5	0.2	72.2	28.4
		20 年	16.0	57.2	21.9	4.3	0.5	73.2	26.2
		23 年	13.7	52.9	29.4	3.9	0.0	66.6	33.3
		26 年	13.9	59.3	24.1	0.9	1.9	73.2	25.0
		28 年	23.8	46.7	24.6	4.9	0.0	70.5	29.5
		元年	19.0	57.5	18.3	4.6	0.7	76.5	22.9
	40 歳 代	16 年	11.0	64.8	20.8	3.3	0.2	75.8	24.1
		20 年	9.2	69.1	17.1	3.9	0.7	78.3	21.0
		23 年	16.4	58.6	20.7	3.4	0.9	75.0	24.1
		26 年	10.0	66.7	17.4	4.5	1.5	76.7	21.9
		28 年	29.5	49.7	15.8	4.9	0.0	79.2	20.7
		元年	15.4	62.5	15.9	6.3	0.0	77.9	22.1

属性	調査時点	H16 ～ H26	大変住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらかといえば 住みにくい	大変住みにくい	無 回 答	『住みやすい』 住みやすい・ まあまあ住みやすい 計	『住みにくい』 やや住みにくい・ 住みにくい 計
		H28 ～ R1	住みやすい	まあまあ 住みやすい	やや 住みにくい	住みにくい			
年 齢	50 歳 代	16 年	11.3	63.4	21.2	3.8	0.3	74.7	25.0
		20 年	6.8	58.1	29.8	1.6	3.7	64.9	31.4
		23 年	9.0	66.0	17.0	5.3	2.7	75.0	22.3
		26 年	14.9	56.7	26.1	0.7	1.5	71.6	26.8
		28 年	15.7	60.4	19.5	4.4	0.0	76.1	23.9
		元年	19.7	52.6	19.7	8.0	0.0	72.3	27.7
	60 歳 代	16 年	15.1	62.0	19.3	3.2	0.5	77.1	22.5
		20 年	7.3	66.3	19.9	2.4	4.1	73.6	22.3
		23 年	8.5	68.2	18.9	1.1	3.4	76.7	20.0
		26 年	8.7	65.0	21.3	2.2	2.7	73.7	23.5
		28 年	16.8	56.7	18.8	6.7	1.0	73.5	25.5
		元年	25.2	62.2	11.0	1.6	0.0	87.4	12.6
	70 歳 代	16 年	26.7	56.5	13.5	2.8	0.5	83.2	16.3
		20 年	13.9	60.0	15.2	3.6	7.3	73.9	18.8
		23 年	18.3	56.7	14.7	2.8	7.5	75.0	17.5
		26 年	13.5	58.9	20.5	5.4	1.6	72.4	25.9
		28 年	23.2	61.4	9.7	5.3	0.5	84.6	15.0
		元年	22.4	55.1	17.3	5.1	0.0	77.6	22.4

注：調査時点

16年…平成16年2月, 20年…平成20年5月, 23年…平成23年6月, 26年…平成26年6月
28年…平成28年9月

2-3 定住の意向

(1) 全体

- 瀬戸市への定住の意向について、「今の場所に住み続けたい」が 55.2%、「市内の別の場所で住み続けたい」が 6.1%と、合わせて 61.3%の方が『定住意向』を持っています。
- 「市外に移りたい、または移る予定である」は 10.9%でした。

(2) 性別

- 「男性」の 64.8%、「女性」の 58.0%が『定住意向』を持っています。

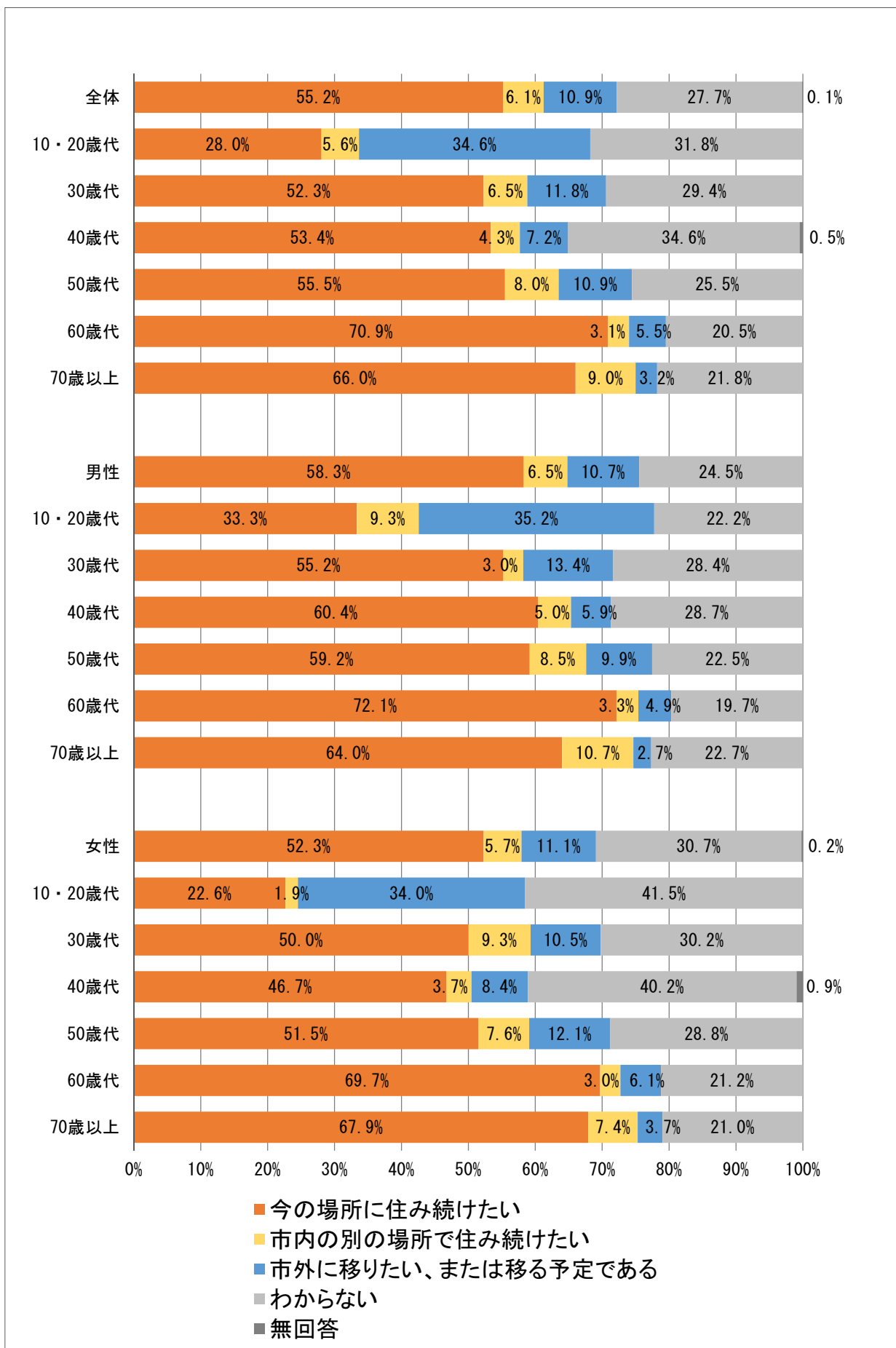
(3) 年齢別

- 年齢が上がるほど『定住意向』の割合が高くなっています。
- 各年齢層の中で「10・20歳代」の『定住意向』は 33.6%で、最も低い割合になっています。

図表 2-3-1 定住の意向① 単位：%

	今の場所に住み続けたい	市内の別の場所で住み続けたい	市外に移りたい、または移る予定である	わからない	無回答	『定住意向』 今の場所に住み続けたい・ 市内の別の場所で住み続けたい 計
全体	55.2	6.1	10.9	27.7	0.1	61.3
10・20歳代	28.0	5.6	34.6	31.8	0.0	33.6
30歳代	52.3	6.5	11.8	29.4	0.0	58.8
40歳代	53.4	4.3	7.2	34.6	0.5	57.7
50歳代	55.5	8.0	10.9	25.5	0.0	63.5
60歳代	70.9	3.1	5.5	20.5	0.0	74.0
70歳代	66.0	9.0	3.2	21.8	0.0	75.0
男性	58.3	6.5	10.7	24.5	0.0	64.8
10・20歳代	33.3	9.3	35.2	22.2	0.0	42.6
30歳代	55.2	3.0	13.4	28.4	0.0	58.2
40歳代	60.4	5.0	5.9	28.7	0.0	65.3
50歳代	59.2	8.5	9.9	22.5	0.0	67.6
60歳代	72.1	3.3	4.9	19.7	0.0	75.4
70歳代	64.0	10.7	2.7	22.7	0.0	74.7
女性	52.3	5.7	11.1	30.7	0.2	58.0
10・20歳代	22.6	1.9	34.0	41.5	0.0	24.5
30歳代	50.0	9.3	10.5	30.2	0.0	59.3
40歳代	46.7	3.7	8.4	40.2	0.9	50.5
50歳代	51.5	7.6	12.1	28.8	0.0	59.1
60歳代	69.7	3.0	6.1	21.2	0.0	72.7
70歳代	67.9	7.4	3.7	21.0	0.0	75.3

図表 2-3-2 定住の意向②



■前回調査（平成 28 年）結果との比較

（1）全体

- 「今の場所に住みたい」と「市内の別の場所で住みたい」を合わせた『定住意向』の割合は 61.3%で、前回調査から 2.1 ポイント下降しています。
- また、「市外に移りたい、または移る予定である」の割合は、0.6 ポイント上昇しています。

単位：%

項目 番号	内 容	選択された割合				ポイントの差	
		H28		R1		R1－H28	
1	今の場所に住みたい	57.8	63.4	55.2	61.3	▲2.6	▲2.1
2	市内の別の場所で住みたい	5.6		6.1		0.5	
3	市外に移りたい、または移る予定である	10.3		10.9		0.6	
4	わからない	25.8		27.7		1.9	

（2）性別

- 「男性」の『定住意向』は、前回よりも 0.3 ポイント上昇し、「女性」の割合は、前回よりも 4.5 ポイント下降しました。
- 「市外に移りたい、または移る予定である」の割合は、「男性」が 0.6 ポイント、女性が 0.5 ポイント上昇しました。

（3）年齢別

- 「今の場所に住みたい」が、「30 歳代」で 10.5 ポイント、「60 歳代」で 9.4 ポイント上昇しました。
- 一方「市外に移りたい、または移る予定である」が、「10・20 歳代」で 9.0 ポイント、「50 歳代」で 0.2 ポイント上昇しました。

注：平成 28 年までの調査では調査対象が満 20 歳以上 80 歳未満の方でしたが、令和元年の調査から満 18 歳、19 歳の方も調査対象としています。

■平成 16 年、平成 20 年、平成 23 年、平成 26 年、平成 28 年調査結果との比較

- 全体で見ると、『定住意向』は、平成 23 年に 60%代後半となっていますが、その他の調査年では 60%代前半で増減を繰り返しており、令和元年は平成 28 年から下降し、平成 20 年の水準になりました。
- 性別で見ると、『定住意向』は、これまでの調査の全ての年で「男性」の割合が「女性」の割合に比べて高くなっています。また、「市外に移りたい、または移る予定である」の割合は、「男性」、「女性」とともに平成 26 年から上昇し続けています。
- 年齢別で見ると、「70 歳代」の『定住意向』の割合は、各調査年でどの年代よりも高くなっていますが、令和元年は「60 歳代」が 74.0%、「70 歳代」が 75.0%と同水準となりました。

図表 2-3-3 定住の意向（平成 16 年・20 年・23 年・26 年・28 年調査との比較）

単位：％

属性		調査時点	今の場所に 住み続けたい	市内の別の場 所で住み続け たい	市外に移りた い、または移る 予定である	わからない	無回答	『定住意向』 今の場所に住み続けたい・ 市内の別の場所で住み続けたい 計
全 体	16 年	54.7	9.1	14.3	18.9	3.0	63.8	
	20 年	51.2	10.1	10.8	25.1	2.8	61.3	
	23 年	58.8	8.3	9.0	19.7	4.2	67.1	
	26 年	53.6	8.5	8.5	27.3	2.0	62.1	
	28 年	57.8	5.6	10.3	25.8	0.6	63.4	
	元年	55.2	6.1	10.9	27.7	0.1	61.3	
性別	男 性	16 年	59.0	9.0	12.6	18.0	1.5	68.0
		20 年	51.6	10.9	9.8	25.9	1.8	62.5
		23 年	60.3	9.2	9.5	17.4	3.6	69.5
		26 年	53.9	10.5	7.2	26.4	2.0	64.4
		28 年	59.8	4.7	10.1	24.8	0.6	64.5
		元年	58.3	6.5	10.7	24.5	0.0	64.8
	女 性	16 年	51.9	9.3	15.9	20.1	2.8	61.2
		20 年	50.8	9.5	11.6	24.6	3.5	60.3
		23 年	57.7	7.5	8.8	21.8	4.2	65.2
		26 年	53.3	6.6	9.9	28.3	1.9	59.9
		28 年	56.1	6.4	10.6	26.8	0.2	62.5
		元年	52.3	5.7	11.1	30.7	0.2	58.0
年 齢	10・20 歳代 ※H28 までは 20 歳代 のみ	16 年	22.2	11.0	30.3	35.7	0.8	33.2
		20 年	27.6	15.8	14.5	42.1	0.0	43.4
		23 年	25.0	21.7	23.3	28.3	1.7	46.7
		26 年	36.0	7.9	14.9	41.2	0.0	43.9
		28 年	32.8	8.0	25.6	33.6	0.0	40.8
		元年	28.0	5.6	34.6	31.8	0.0	33.6
	30 歳 代	16 年	40.1	9.1	22.9	27.2	0.8	49.2
		20 年	44.9	12.8	15.0	26.7	0.5	57.7
		23 年	49.0	3.9	13.7	33.3	0.0	52.9
		26 年	42.6	11.1	9.3	35.2	1.9	53.7
		28 年	41.8	3.3	13.9	41.0	0.0	45.1
		元年	52.3	6.5	11.8	29.4	0.0	58.8
	40 歳 代	16 年	50.3	11.2	14.5	23.2	0.8	61.5
		20 年	44.7	8.6	13.8	32.2	0.7	53.3
		23 年	52.6	7.8	8.6	30.2	0.9	60.4
		26 年	46.8	9.0	11.4	30.8	2.0	55.8
		28 年	59.6	5.5	8.7	26.2	0.0	65.1
		元年	53.4	4.3	7.2	34.6	0.5	57.7

属性		調査時点	今の場所に 住み続けたい	市内の別の場 所で住み続け たい	市外に移りた い、または移る 予定である	わからない	無回答	『定住意向』 今の場所に住み続けたい・ 市内の別の場所で住み続けたい 計
年齢	50 歳代	16 年	56.3	8.7	15.5	17.1	2.4	65.0
		20 年	45.5	6.8	13.1	31.4	3.1	52.3
		23 年	55.9	11.2	10.1	19.1	3.7	67.1
		26 年	55.2	9.0	9.0	23.9	3.0	64.2
		28 年	58.5	4.4	10.7	26.4	0.0	62.9
		元年	55.5	8.0	10.9	25.5	0.0	63.5
	60 歳代	16 年	66.3	9.9	8.0	13.3	2.5	76.2
		20 年	58.1	11.0	5.7	21.5	3.7	69.1
		23 年	63.9	6.5	8.5	17.5	3.7	70.4
		26 年	61.7	8.2	4.4	23.5	2.2	69.9
		28 年	61.5	7.2	5.8	24.5	1.0	68.7
		元年	70.9	3.1	5.5	20.5	0.0	74.0
	70 歳代	16 年	76.8	5.8	4.1	8.5	4.8	82.6
		20 年	70.9	8.5	6.7	7.3	6.7	79.4
		23 年	67.5	6.7	4.8	13.9	7.1	74.2
		26 年	68.6	7.0	4.9	17.3	2.2	75.6
		28 年	76.3	4.8	4.8	13.0	1.0	81.1
		元年	66.0	9.0	3.2	21.8	0.0	75.0

注：調査時点

16年…平成16年2月, 20年…平成20年5月, 23年…平成23年6月, 26年…平成26年6月
28年…平成28年9月

2-4 まちへの愛着

(1) 全体

- 瀬戸市への愛着について、「愛着がある」が29.6%、「まあまあ愛着がある」が44.8%と、合わせて74.4%の方が、瀬戸市に『愛着がある』と評価しています。

(2) 性別

- 「男性」の77.2%、「女性」の71.9%の方が、瀬戸市に『愛着がある（「愛着がある」と「まあまあ愛着がある」を合わせた評価）』と評価しています。

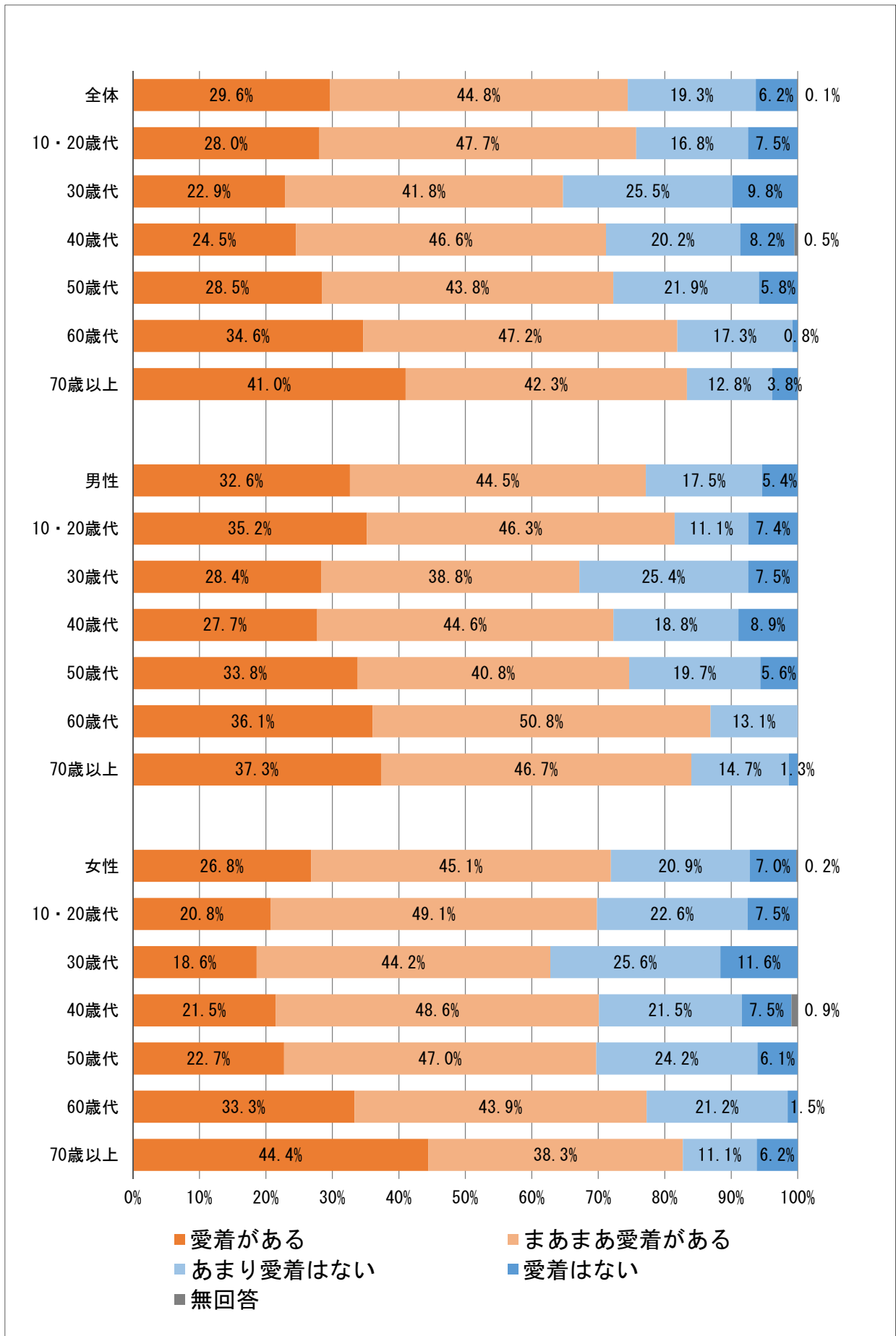
(3) 年齢別

- いずれの年齢においても60%以上の方が、瀬戸市に『愛着がある』と評価しています。さらに、「60歳代・男性」の割合が、最も高く86.9%、次いで「70歳代・男性」の割合が84.0%となっています。
- 一方、『愛着がない（「あまり愛着はない」と「愛着はない」を合わせた評価）』と評価しているのは、「女性・30歳代」の割合が、最も高く37.2%、次いで「男性・30歳代」の割合が32.8%となっています。

図表2-4-1 まちへの愛着① 単位：%

	愛着がある	まあまあ愛着がある	あまり愛着はない	愛着はない	無回答	『愛着がある』 愛着がある・ まあまあ愛着が ある 計	『愛着がない』 あまり愛着はない・ 愛着はない 計
全体	29.6	44.8	19.3	6.2	0.1	74.4	25.5
10・20歳代	28.0	47.7	16.8	7.5	0.0	75.7	24.3
30歳代	22.9	41.8	25.5	9.8	0.0	64.7	35.3
40歳代	24.5	46.6	20.2	8.2	0.5	71.2	28.4
50歳代	28.5	43.8	21.9	5.8	0.0	72.3	27.7
60歳代	34.6	47.2	17.3	0.8	0.0	81.9	18.1
70歳代	41.0	42.3	12.8	3.8	0.0	83.3	16.7
男性	32.6	44.5	17.5	5.4	0.0	77.2	22.8
10・20歳代	35.2	46.3	11.1	7.4	0.0	81.5	18.5
30歳代	28.4	38.8	25.4	7.5	0.0	67.2	32.8
40歳代	27.7	44.6	18.8	8.9	0.0	72.3	27.7
50歳代	33.8	40.8	19.7	5.6	0.0	74.6	25.4
60歳代	36.1	50.8	13.1	0.0	0.0	86.9	13.1
70歳代	37.3	46.7	14.7	1.3	0.0	84.0	16.0
女性	26.8	45.1	20.9	7.0	0.2	71.9	27.9
10・20歳代	20.8	49.1	22.6	7.5	0.0	69.8	30.2
30歳代	18.6	44.2	25.6	11.6	0.0	62.8	37.2
40歳代	21.5	48.6	21.5	7.5	0.9	70.1	29.0
50歳代	22.7	47.0	24.2	6.1	0.0	69.7	30.3
60歳代	33.3	43.9	21.2	1.5	0.0	77.3	22.7
70歳代	44.4	38.3	11.1	6.2	0.0	82.7	17.3

図表 2-4-2 まちへの愛着②



■前回調査（平成 28 年）結果との比較

（1）全体

- 「愛着がある」と「まあまあ愛着がある」を合わせた『愛着がある』割合は 74.4% で、前回調査から 6.2 ポイント下降しています。
- 「あまり愛着がない」と「愛着はない」を合わせた『愛着がない』割合は 25.5% で、前回調査から 6.4 ポイント上昇しています。

単位：%

項目 番号	内 容	選択された割合				ポイントの差	
		H28		R1		R1－H28	
1	愛着がある	37.4	80.6	29.6	74.4	▲7.8	▲6.2
2	まあまあ愛着がある	43.2		44.8		1.6	
3	あまり愛着がない	13.5	19.1	19.3	25.5	5.8	6.4
4	愛着はない	5.6		6.2		0.6	

（2）性別

- 『愛着がある』割合は、「男性」が 4.5 ポイント、「女性」が 7.9 ポイント下降しています。
- 『愛着がない』割合は、「男性」が 4.7 ポイント、「女性」が 7.9 ポイント上昇しています。

（3）年齢別

- 『愛着がある』割合が「10・20 歳代」で 0.5 ポイント、「60 歳代」で 6.0 ポイント上昇しました。
- 一方、『愛着がない』割合が「30 歳代」で 14.0 ポイント、「40 歳代」で 11.5 ポイント、「50 歳代」で 10.7 ポイントといずれも 10 ポイント以上上昇し、「70 歳代」で 3.7 ポイント上昇しました。

注：平成 28 年までの調査では調査対象が満 20 歳以上 80 歳未満の方でしたが、令和元年の調査から満 18 歳、19 歳の方も調査対象としています。

表 2-4-3 まちへの愛着（平成 28 年調査との比較）単位：％

属性		調査時点	愛着がある	まあまあ愛着がある	あまり愛着はない	愛着はない	無回答	『愛着がある』 愛着がある・ まあまあ愛着が ある 計	『愛着がない』 あまり愛着はない・ 愛着はない 計
全 体		28 年	37.4	43.2	13.5	5.6	0.4	80.6	19.1
		元年	29.6	44.8	19.3	6.2	0.1	74.4	25.5
性別	男 性	28 年	39.6	42.1	12.1	6.0	0.2	81.7	18.1
		元年	32.6	44.5	17.5	5.4	0.0	77.2	22.8
	女 性	28 年	35.3	44.5	14.8	5.2	0.2	79.8	20.0
		元年	26.8	45.1	20.9	7.0	0.2	71.9	27.9
年齢	10・20 歳代 ※H28 は 20 歳代のみ	28 年	39.2	36.0	17.6	7.2	0.0	75.2	24.8
		元年	28.0	47.7	16.8	7.5	0.0	75.7	24.3
	30 歳代	28 年	30.3	48.4	13.9	7.4	0.0	78.7	21.3
		元年	22.9	41.8	25.5	9.8	0.0	64.7	35.3
	40 歳代	28 年	49.2	33.3	12.0	4.9	0.5	82.5	16.9
		元年	24.5	46.6	20.2	8.2	0.5	71.2	28.4
	50 歳代	28 年	34.0	48.4	12.6	4.4	0.6	82.4	17.0
		元年	28.5	43.8	21.9	5.8	0.0	72.3	27.7
	60 歳代	28 年	28.8	47.1	17.8	6.3	0.0	75.9	24.1
		元年	34.6	47.2	17.3	0.8	0.0	81.9	18.1
	70 歳代	28 年	41.1	45.9	8.7	4.3	0.0	87.0	13.0
		元年	41.0	42.3	12.8	3.8	0.0	83.3	16.7

注：調査時点
28 年…平成 28 年 9 月

2-5 まちづくりに対する市民の意識

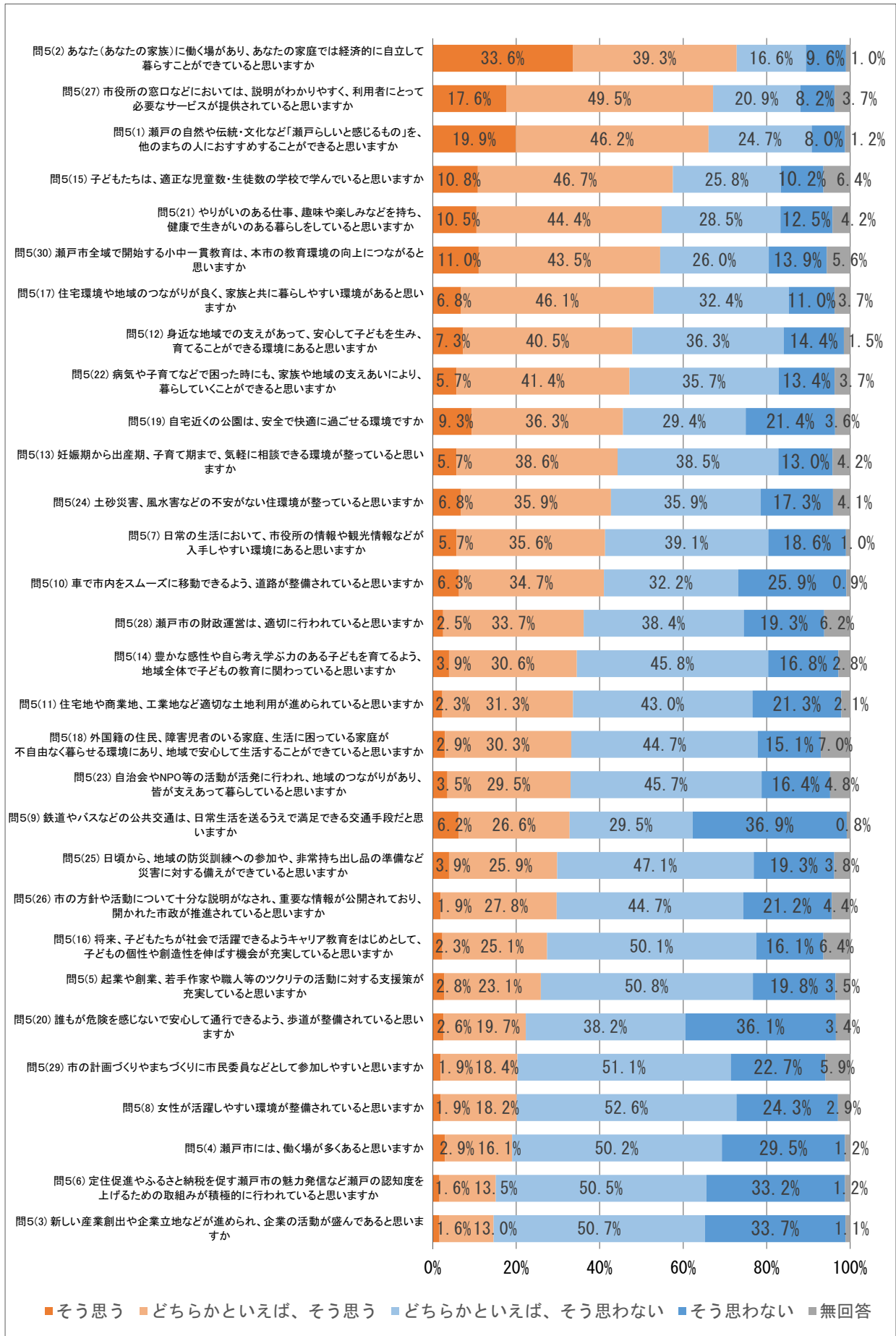
- 市のまちづくりに対する意見について30項目の調査を行い、『プラス評価』（「そう思う」・「どちらかといえば、そう思う」人の割合の合計）が高い順に整理しました。

図表 2-5-1 まちづくりに対する市民の意識① 単位：%

順位	設問番号	設問	そう思う	どちらか といえ ば、そう 思う	どちらか といえ ば、そう 思わない	そう思わ ない	無回 答	『プラス評価』 そう思う・ どちらかとい えばそう思う 人の割合
1	(2)	あなた(あなたの家族)に働く場があり、あなたの家庭では経済的に自立して暮らすことができていると思いますか。	33.6	39.3	16.6	9.6	1.0	72.9
2	(27)	市役所の窓口などにおいては、説明がわかりやすく、利用者にとって必要なサービスが提供されていると思いますか。	17.6	49.5	20.9	8.2	3.7	67.1
3	(1)	瀬戸の自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を、他のまちの人におすすめることができていると思いますか。	19.9	46.2	24.7	8.0	1.2	66.1
4	(15)	子どもたちは、適正な児童数・生徒数の学校で学んでいると思いますか。	10.8	46.7	25.8	10.2	6.4	57.5
5	(21)	やりがいのある仕事、趣味や楽しみなどをもち、健康で生きがいのある暮らしをしていると思いますか。	10.5	44.4	28.5	12.5	4.2	54.9
6	(30)	瀬戸市全域で開始する小中一貫教育は、本市の教育環境の向上につながるとは思いますか。	11.0	43.5	26.0	13.9	5.6	54.5
7	(17)	住宅環境や地域のつながりが良く、家族と共に暮らしやすい環境があると思いますか。	6.8	46.1	32.4	11.0	3.7	52.9
8	(12)	身近な地域での支えがあって、安心して子どもを生み、育てることができる環境にあると思いますか。	7.3	40.5	36.3	14.4	1.5	47.8
9	(22)	病気や子育てなどで困った時にも、家族や地域の支えあいにより、暮らしていくことができていると思いますか。	5.7	41.4	35.7	13.4	3.7	47.1
10	(19)	自宅近くの公園は、安全で快適に過ごせる環境ですか。	9.3	36.3	29.4	21.4	3.6	45.6
11	(13)	妊娠期から出産期、子育て期まで、気軽に相談できる環境が整っていると思いますか。	5.7	38.6	38.5	13.0	4.2	44.3
12	(24)	土砂災害、風水害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。	6.8	35.9	35.9	17.3	4.1	42.7
13	(7)	日常生活において、市役所の情報や観光情報などが入手しやすい環境にあると思いますか。	5.7	35.6	39.1	18.6	1.0	41.3
14	(10)	車で市内をスムーズに移動できるよう、道路が整備されていると思いますか。	6.3	34.7	32.2	25.9	0.9	41.0

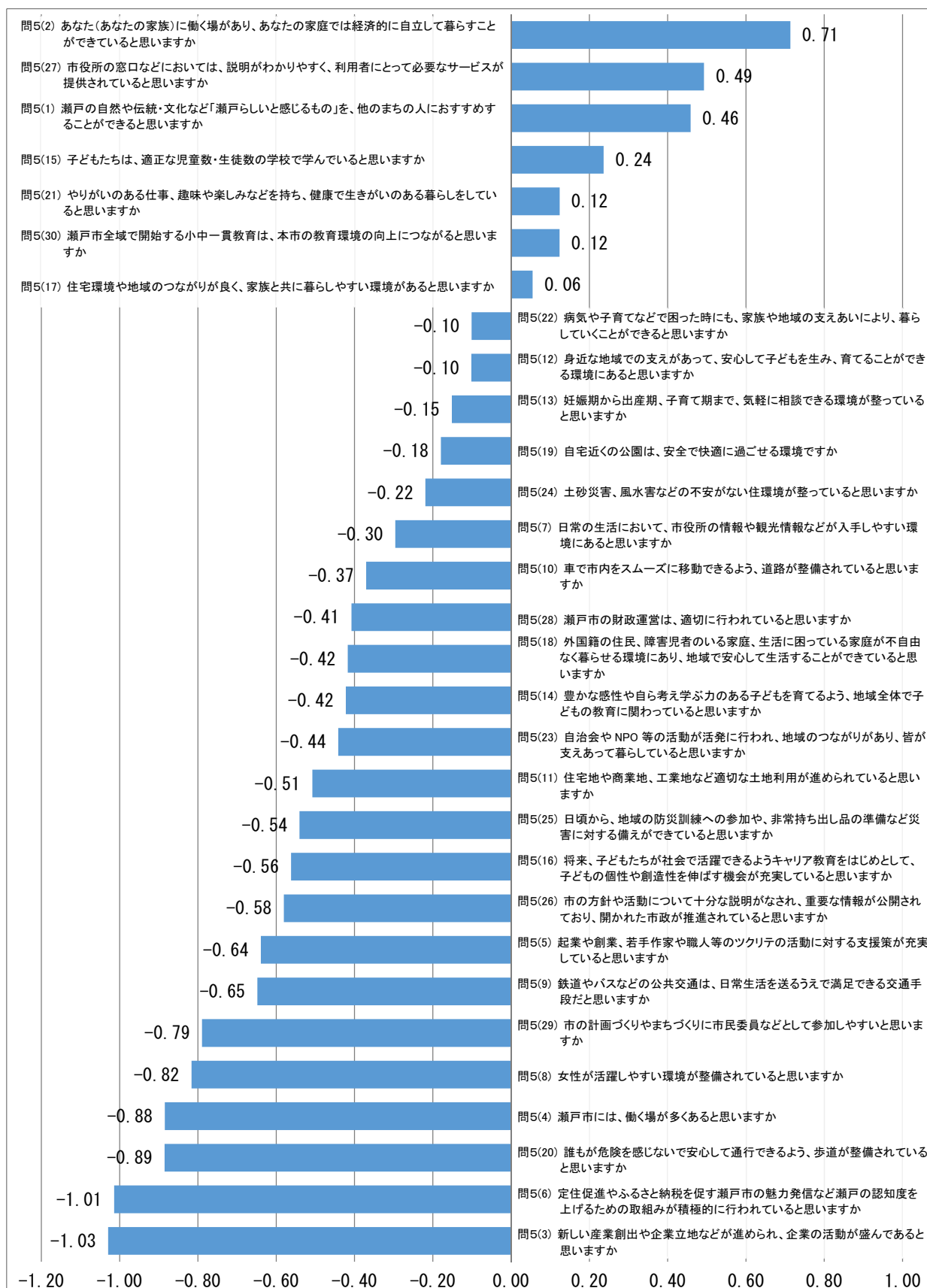
順位	設問番号	設問	そう思う	どちらかといえ ば、そう 思う	どちらか といえ ば、そう 思わない	そう思わ ない	無 回 答	『プラス評価』 そう思う・ どちらかとい えばそう思う 人の割合
15	(28)	瀬戸市の財政運営は、適切に行われていると思いますか。	2.5	33.7	38.4	19.3	6.2	36.2
16	(14)	豊かな感性や自ら考え学ぶ力のある子どもを育てるよう、地域全体で子どもの教育に関わっていると思いますか。	3.9	30.6	45.8	16.8	2.8	34.5
17	(11)	住宅地や商業地、工業地など適切な土地利用が進められていると思いますか。	2.3	31.3	43.0	21.3	2.1	33.6
18	(18)	外国籍の住民、障害児者のいる家庭、生活に困っている家庭が不自由なく暮らせる環境にあり、地域で安心して生活することができていると思いますか。	2.9	30.3	44.7	15.1	7.0	33.2
19	(23)	自治会や NPO 等の活動が活発に行われ、地域のつながりがあり、皆が支えあって暮らしていると思いますか。	3.5	29.5	45.7	16.4	4.8	33.0
20	(9)	鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思えますか。	6.2	26.6	29.5	36.9	0.8	32.8
21	(25)	日頃から、地域の防災訓練への参加や、非常持ち出し品の準備など災害に対する備えができていると思いますか。	3.9	25.9	47.1	19.3	3.8	29.8
22	(26)	市の方針や活動について十分な説明がなされ、重要な情報が公開されており、開かれた市政が推進されていると思いますか。	1.9	27.8	44.7	21.2	4.4	29.7
23	(16)	将来、子どもたちが社会で活躍できるようキャリア教育をはじめとして、子どもの個性や創造性を伸ばす機会が充実していると思いますか。	2.3	25.1	50.1	16.1	6.4	27.4
24	(5)	起業や創業、若手作家や職人等のツクリテの活動に対する支援策が充実していると思いますか。	2.8	23.1	50.8	19.8	3.5	25.9
25	(20)	誰もが危険を感じないで安心して通行できるよう、歩道が整備されていると思いますか。	2.6	19.7	38.2	36.1	3.4	22.3
26	(29)	市の計画づくりやまちづくりに市民委員などとして参加しやすいと思いますか。	1.9	18.4	51.1	22.7	5.9	20.3
27	(8)	女性が活躍しやすい環境が整備されていると思いますか。	1.9	18.2	52.6	24.3	2.9	20.1
28	(4)	瀬戸市には、働く場が多くあると思いますか。	2.9	16.1	50.2	29.5	1.2	19.0
29	(6)	定住促進やふるさと納税を促す瀬戸市の魅力発信など瀬戸の認知度を上げるための取組みが積極的に行われていると思いますか。	1.6	13.5	50.5	33.2	1.2	15.1
30	(3)	新しい産業創出や企業立地などが進められ、企業の活動が盛んであると思いますか。	1.6	13.0	50.7	33.7	1.1	14.6

図表 2-5-2 まちづくりに対する市民の意識②



図表 2-5-3 まちづくりに対する市民の意識（評価点）

- 各回答に「そう思う：2点、どちらかといえばそう思う：1点、どちらかといえばそう思わない：-1点、そうは思わない：-2点」の重みをつけ平均値を算出。
- 評価点の高い順



■前回調査（平成 28 年）結果との比較

- 平成 28 年と令和元年の『プラス評価』（「そう思う」・「どちらかといえば、そう思う」人の割合の合計）を比較し、上昇が大きい順に整理しました。

図表 2-5-4 まちづくりに対する市民の意識（前回比較） 単位：％

順位 (上昇)	設問 番号	設 問	『プラス評価』		ポイント差
			H28 年	R1 年	
1	(19)	自宅近くの公園は、安全で快適に過ごせる環境ですか。	29.9	45.6	15.7
2	(2)	あなた(あなたの家族)に働く場があり、あなたの家庭では経済的に自立して暮らすことができていると思いますか。	58.0	72.9	14.9
3	(1)	瀬戸の自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を、他のまちの人におすすめることができていると思いますか。	53.0	66.1	13.1
4	(12)	身近な地域での支えがあって、安心して子どもを生み、育てることができる環境にあると思いますか。	35.1	47.8	12.7
5	(15)	子どもたちは、適正な児童数・生徒数の学校で学んでいると思いますか。	46.2	57.5	11.3
6	(24)	土砂災害、風水害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。	34.9	42.7	7.8
7	(18)	外国籍の住民、障害児者のいる家庭、生活に困っている家庭が不自由なく暮らせる環境にあり、地域で安心して生活することができると思いますか。	26.1	33.2	7.1
8	(11)	住宅地や商業地、工業地など適切な土地利用が進められていると思いますか。	27.0	33.6	6.6
8	(17)	住宅環境や地域のつながりが良く、家族と共に暮らしやすい環境があると思いますか。	46.3	52.9	6.6
9	(14)	豊かな感性や自ら考え学ぶ力のある子どもを育てよう、地域全体で子どもの教育に関わっていると思いますか。	28.5	34.5	6.0
11	(28)	瀬戸市の財政運営は、適切に行われていると思いますか。	31.1	36.2	5.1
12	(16)	将来、子どもたちが社会で活躍できるようキャリア教育をはじめとして、子どもの個性や創造性を伸ばす機会が充実していると思いますか。	22.4	27.4	5.0
13	(22)	病気や子育てなどで困った時にも、家族や地域の支えあいにより、暮らしていくことができていると思いますか。	42.7	47.1	4.4
14	(20)	誰もが危険を感じないで安心して通行できるよう、歩道が整備されていると思いますか。	19.3	22.3	3.0
15	(4)	瀬戸市には、働く場が多くあると思いますか。	16.1	19.0	2.9
16	(26)	市の方針や活動について十分な説明がなされ、重要な情報が公開されており、開かれた市政が推進されていると思いますか。	27.0	29.7	2.7
17	(10)	車で市内をスムーズに移動できるよう、道路が整備されていると思いますか。	40.3	41.0	0.7
18	(9)	鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思いますか。	32.4	32.8	0.4
19	(29)	市の計画づくりやまちづくりに市民委員などとして参加しやすいと思いますか。	21.0	20.3	▲0.7

注：H28 年の調査から内容が変更された設問や新たに追加された設問は、比較対象としていません。

2-6 力を入れていくべき分野

(1) 全体

- 「⑮公共交通」が最も高く 31.3%、次いで「②企業誘致」と「⑬道路の整備」が 26.6%となっています。

(2) 性別

- 「男性」では、「②企業誘致」が最も高く 32.6%、次いで「⑮公共交通」が 28.2%、「⑥子育て支援」が 26.8%となっています。
- 「女性」では、「⑮公共交通」が最も高く 34.2%、次いで「⑬道路の整備」が 27.7%、「⑦高齢者支援」が 26.1%となっています。

(3) 年齢別

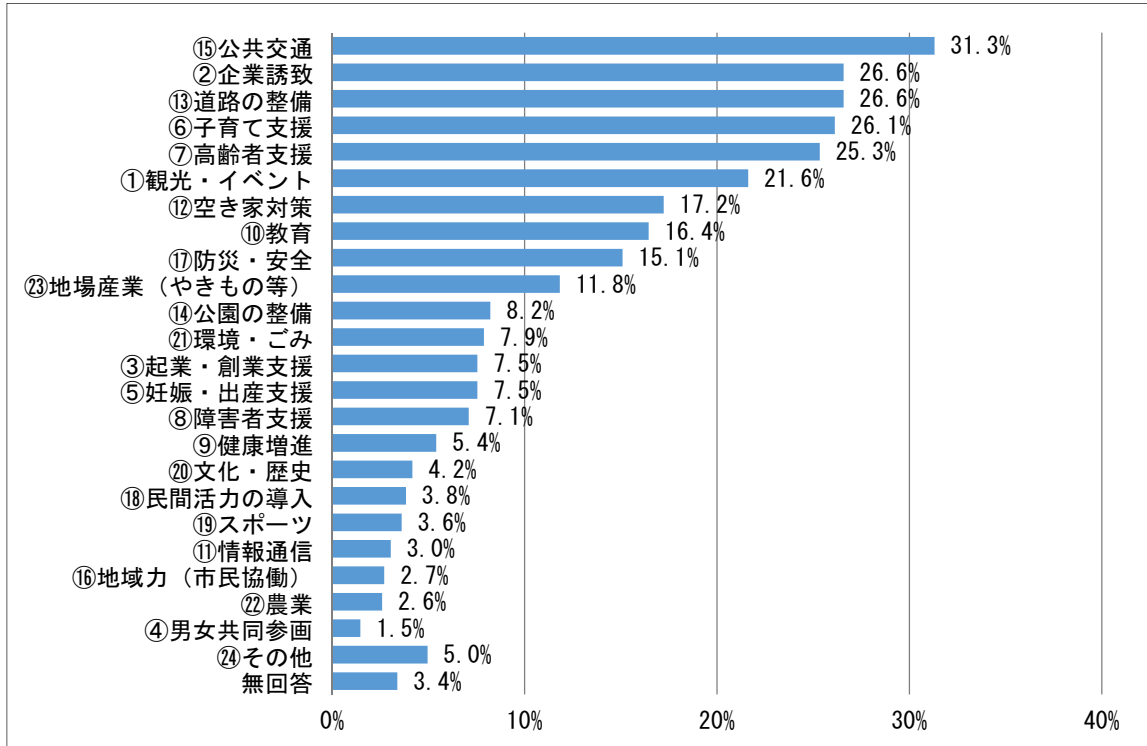
- 「10・20歳代」及び「30歳代」では「⑥子育て支援」が、「40歳代」及び「50歳代」では「⑮公共交通」が、「60歳代」及び「70歳代」では「⑦高齢者支援」が最も多く選択されています。

図表2-6-1 力を入れていくべき分野①

順位	選択肢	回答数	割合
1	⑮公共交通	278件	31.3%
2	②企業誘致	236件	26.6%
2	⑬道路の整備	236件	26.6%
4	⑥子育て支援	232件	26.1%
5	⑦高齢者支援	225件	25.3%
6	①観光・イベント	192件	21.6%
7	⑫空き家対策	153件	17.2%
8	⑩教育	146件	16.4%
9	⑰防災・安全	134件	15.1%
10	⑳地場産業(やきもの等)	105件	11.8%
11	⑭公園の整備	73件	8.2%
12	㉑環境・ごみ	70件	7.9%
13	③起業・創業支援	67件	7.5%
13	⑤妊娠・出産支援	67件	7.5%
15	⑧障害者支援	63件	7.1%
16	⑨健康増進	48件	5.4%
17	㉒文化・歴史	37件	4.2%
18	⑱民間活力の導入	34件	3.8%
19	⑲スポーツ	32件	3.6%
20	⑪情報通信	27件	3.0%
21	⑯地域力(市民協働)	24件	2.7%
22	㉓農業	23件	2.6%
23	④男女共同参画	13件	1.5%
—	㉔その他	44件	5.0%
—	全体	2,589件	—
—	無回答	30件	3.4%

注：3つまでの複数回答が可能な設問であり、割合は有効回収数（888票）に対して

図表 2-6-2 力を入れていくべき分野②



図表 2-6-3 力を入れていくべき分野（性別・年代別）

属性		属性ごとの選択順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		⑮公共交通 (31.3%)	②企業誘致 (26.6%)	⑬道路の整備 (26.6%)	⑥子育て支援 (26.1%)	⑦高齢者支援 (25.3%)
性別	男性	②企業誘致 (32.6%)	⑮公共交通 (28.2%)	⑥子育て支援 (26.8%)	⑬道路の整備 (25.4%)	⑦高齢者支援 (24.5%)
	女性	⑮公共交通 (34.2%)	⑬道路の整備 (27.7%)	⑦高齢者支援 (26.1%)	⑥子育て支援 (25.5%)	②企業誘致 (20.9%)
年齢	10・20歳代	⑥子育て支援 (41.1%)	①観光・イベント (26.2%)	⑮公共交通 (24.3%)	⑩教育 (22.4%)	⑬道路の整備 (21.5%)
	30歳代	⑥子育て支援 (44.4%)	⑬道路の整備 (32.7%)	⑩教育 (27.5%)	②企業誘致 (26.1%)	⑮公共交通 (22.2%)
	40歳代	⑮公共交通 (32.7%)	②企業誘致 (31.7%)	⑥子育て支援 (26.4%)	⑬道路の整備 (25.5%)	①観光・イベント (25.0%)
	50歳代	⑮公共交通 (36.5%)	⑬道路の整備 (32.1%)	⑦高齢者支援 (29.9%)	②企業誘致 (27.0%)	①観光・イベント (21.9%)
	60歳代	⑦高齢者支援 (40.9%)	⑮公共交通 (34.6%)	②企業誘致 (23.6%)	⑫空き家対策 (23.6%)	⑬道路の整備 (23.6%)
	70歳代	⑦高齢者支援 (37.8%)	⑮公共交通 (35.9%)	②企業誘致 (27.6%)	⑬道路の整備 (23.1%)	⑫空き家対策 (22.4%)

注：表の整理上、同じ割合のものは選択肢番号が小さいものを上位にしています。

■ 「②④その他」の内容

- 問6で「②④その他」を選択した方が記入された内容を整理します。

都市像① 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち
道路の整備
・環境、道路、歩道、街路樹 交通整備
・歩道(とくに R248、子供と老人が自転車でも安全に走りやすいものに整備を!)と自転車通行帯(大人&サイクリスト)の整備
・歩道の少なさ
・ふみきりの地下化
・渋滞緩和対策
・どうろわきの木や草で見とおしが悪い
公共交通
・コミュニティバスを長久手や日進のように小型バスに!!
地場産業(やきもの等)
・地場産業の水平展開新規開拓
ブランディング
・ブランディング 瀬戸市の魅力向上 ・イメージ UP が重要では。瀬戸物だけでは、古いイメージしかなく長久手、尾張旭、守山区などが新しい商業施設、取組みを始めている中、古いイメージが強い ・瀬戸物も土岐・多治見に比べイメージが弱くなってきている(今まで瀬戸物に支えられてきていることは感謝しているが…)
河川施設等
・河川整備
・調整池の整備
商業施設等
・飲食店
・町の発展 カフェ・大型ショッピングモールなど
・スーパー又は大型スーパーをふやす
・商業施設の誘致
・今さびれてる道の駅にスタバ・TSUTAYA・雑貨屋を建てたら絶対繁盛する。マックや丸亀とか
都市像② 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち
妊娠・出産支援
・不妊治療(人工授精～体外受精まで)現状の助成額ではキツイ。
子育て支援
・子供虐待対策(親の勉強会など)
・保育園受入人数を増してほしい
教育
・学校のクーラーの設置
居住環境
・人口増の施策の品野、赤津方面の土地の有効活用 宅地等

都市像③ 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち	
地域力(市民協働)	
・地域のつながり 活性化	
・小・中校合わせて7校が閉校することで、今まで子供たちがいることで繋がりがあえていた交流が失われる。1つにまとめることは、偏りが生まれる。多くの人から反対の声を耳にします。経済ばかりではなく、地域を大切にするために力を入れてほしい。SDGSと反対の動きをしていると思う。瀬戸は、世界的にみても海上の森がとてすばらしい森なので、そういった自然を観光にすることも、今の世界の動き(SDGS)とも合っているし、逆に日本の中でも先へ進めるようにも思います。	
・瀬戸市外への目を向ける充実体験	
・講座を安くで受けられるなど	
環境・ごみ	
・不法投棄対策	
・道路、通学路等の草かりゴミの投げすて等	
・しぜんをまもる!(木)(森)	
・野良猫の保護活動	
・環境大気中の砂埃除去	
・野焼き禁止!!	
防犯	
・防犯	
行政	
行政運営	
・保育士・幼稚園教諭の給与を上げてください。	
・奨学金返済を市が免除してほしい	
・課題に対しての財源確保は市民税以外で!職員等の給与の見直しを!!	
・情報収集	
課税と収納	
・財政運営 市民税高い→サービスは他の地域以上に	
・税金が高い	
・住民税の低減	
・税(市民税)の見直し	
・高額な市民税の減額見直し	
人事・職員	
・市職員の意識 上から目線でサラリーマン体質 責任を取らない	
広報	
・SNS活用	
その他	
その他	
・何も期待しない	
・無	

注：問6「④その他」の内容以外で調査票回答欄外等に記入頂いたご意見については、本報告書には掲載しておりません。

調 査 票

問1 あなた自身のことについておたずねします。

各設問について、次の中からあてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

(1) あなたの性別についてお答えください。

(1)

① 男性

② 女性

(2) あなたの年齢についてお答えください。

(2)

① 10・20歳代

② 30歳代

③ 40歳代

④ 50歳代

⑤ 60歳代

⑥ 70歳以上

問2 あなたにとって、瀬戸市は住みやすいところですか。

次の中からあてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

① 住みやすい。

② まあまあ住みやすい。

③ やや住みにくい。

④ 住みにくい。

問3 あなたは、今後も瀬戸市に住み続けたいですか。

次の中からあてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

① 今の場所に住み続けたい。

② 市内の別の場所で住み続けたい。

③ 市外に移りたい、または移る予定である。

④ わからない。

問4 あなたは、瀬戸市に愛着がありますか。

次の中からあてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

① 愛着がある。

② まあまあ愛着がある。

③ あまり愛着はない。

④ 愛着はない。

問5 市のまちづくりに対するあなたのご意見について、以下の設問ごとに、あてはまる番号を「回答番号1～4」の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

番号	設 問	回答番号			
		そう 思う	ほ、 ぼ、 そう 思う	ど ち ら か と い え	ど ち ら か と い え ば、 そ う 思 わ な い
1	瀬戸の自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を、他のまちの人におすすめすることができると思いますか。	1	2	3	4
2	あなた（あなたの家族）に働く場があり、あなたの家庭では経済的に自立して暮らすことができていると思いますか。	1	2	3	4
3	新しい産業創出や企業立地などが進められ、企業の活動が盛んであると思いますか。	1	2	3	4
4	瀬戸市には、働く場が多くあると思いますか。	1	2	3	4
5	起業や創業、若手作家や職人等のツクリテの活動に対する支援策が充実していると思いますか。	1	2	3	4
6	定住促進やふるさと納税を促す瀬戸市の魅力発信など瀬戸の認知度を上げるための取組みが積極的に行われていると思いますか。	1	2	3	4
7	日常生活において、市役所の情報や観光情報などが入手しやすい環境にあると思いますか。	1	2	3	4
8	女性が活躍しやすい環境が整備されていると思いますか。	1	2	3	4
9	鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思いますか。	1	2	3	4
10	車で市内をスムーズに移動できるよう、道路が整備されていると思いますか。	1	2	3	4
11	住宅地や商業地、工業地など適切な土地利用が進められていると思いますか。	1	2	3	4
12	身近な地域での支えがあって、安心して子どもを生子、育てることができる環境にあると思いますか。	1	2	3	4
13	妊娠期から出産期、子育て期まで、気軽に相談できる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4
14	豊かな感性や自ら考え学ぶ力のある子どもを育てるよう、地域全体で子どもの教育に関わっていると思いますか。	1	2	3	4



番号	設 問	回答番号			
		そう 思う	ほ ん と な ら な い	ど ち ら か と い え	ど ち ら か と い え
15	子どもたちは、適正な児童数・生徒数の学校で学んでいると思いますか。	1	2	3	4
16	将来、子どもたちが社会で活躍できるようキャリア教育をはじめとして、子どもの個性や創造性を伸ばす機会が充実していると思いますか。	1	2	3	4
17	住宅環境や地域のつながりが良く、家族と共に暮らしやすい環境があると思いますか。	1	2	3	4
18	外国籍の住民、障害児者のいる家庭、生活に困っている家庭が不自由なく暮らせる環境にあり、地域で安心して生活することができていると思いますか。	1	2	3	4
19	自宅近くの公園は、安全で快適に過ごせる環境ですか。	1	2	3	4
20	誰もが危険を感じないで安心して通行できるよう、歩道が整備されていると思いますか。	1	2	3	4
21	やりがいのある仕事、趣味や楽しみなどを持ち、健康で生きがいのある暮らしをしていると思いますか。	1	2	3	4
22	病気や子育てなどで困った時にも、家族や地域の支えあいにより、暮らしていくことができると思いますか。	1	2	3	4
23	自治会やNPO等の活動が活発に行われ、地域のつながりがあり、皆が支えあって暮らしていると思いますか。	1	2	3	4
24	土砂災害、風水害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4
25	日頃から、地域の防災訓練への参加や、非常持ち出し品の準備など災害に対する備えができていると思いますか。	1	2	3	4
26	市の方針や活動について十分な説明がなされ、重要な情報が公開されており、開かれた市政が推進されていると思いますか。	1	2	3	4
27	市役所の窓口などにおいては、説明がわかりやすく、利用者にとって必要なサービスが提供されていると思いますか。	1	2	3	4



回答番号					
番号	設問	そう思う	はい、そう思う	どちらかといえは、そう思わない	そう思わない
28	瀬戸市の財政運営は、適切に行われていると思いますか。	1	2	3	4
29	市の計画づくりやまちづくりに市民委員などとして参加しやすいと思いますか。	1	2	3	4
30	瀬戸市全域で開始する小中一貫教育は、本市の教育環境の向上につながると思いますか。	1	2	3	4

問6 瀬戸市のまちづくりについて、どの分野に力を入れていくべきだと思いますか。

次の中からあてはまる番号を3つ選び、右の回答欄に記入してください。

回答欄

※「24 その他」の場合は、回答欄へ番号を記入するとともに、()へ内容を記入してください。

- | | | |
|-------------|---------------|-----------|
| ① 観光・イベント | ② 企業誘致 | ③ 起業・創業支援 |
| ④ 男女共同参画 | ⑤ 妊娠・出産支援 | ⑥ 子育て支援 |
| ⑦ 高齢者支援 | ⑧ 障害者支援 | ⑨ 健康増進 |
| ⑩ 教育 | ⑪ 情報通信 | ⑫ 空き家対策 |
| ⑬ 道路の整備 | ⑭ 公園の整備 | ⑮ 公共交通 |
| ⑯ 地域力（市民協働） | ⑰ 防災・安全 | ⑱ 民間活力の導入 |
| ⑲ スポーツ | ⑳ 文化・歴史 | ㉑ 環境・ごみ |
| ㉒ 農業 | ㉓ 地場産業（やきもの等） | ㉔ その他（ ） |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、10月18日（金）までに投函くださいますようお願いいたします。（切手は貼らなくて結構です。）